

平成21年度 岐阜県高等学校総合体育大会バスケットボール競技
兼東海・全国高等学校総合体育大会岐阜県予選会
3日目:平成21年5月30日(土)
会場:岐阜メモリアルセンターで愛ドーム・ふれ愛ドーム

男子の部

< 審判 >

Aブロック決勝	美濃加茂	99	62	高山西	松野瑞穂・林 義貴
		$\begin{bmatrix} 18 - 10 \\ 26 - 21 \\ 22 - 15 \\ 33 - 16 \end{bmatrix}$			
Bブロック決勝	岐阜農林	62	57	富 田	室谷伸治・古田 怜
		$\begin{bmatrix} 19 - 8 \\ 11 - 18 \\ 17 - 15 \\ 15 - 16 \end{bmatrix}$			
Cブロック決勝	岐阜総合	68	49	斐 太	増田博徳・三浦 潔
		$\begin{bmatrix} 21 - 9 \\ 20 - 8 \\ 11 - 12 \\ 16 - 20 \end{bmatrix}$			
Dブロック決勝	中津川工	104	65	長 良	相宮俊郎・小池匡弥
		$\begin{bmatrix} 26 - 9 \\ 31 - 20 \\ 33 - 15 \\ 14 - 21 \end{bmatrix}$			
決勝リーグ	美濃加茂 (1勝)	81	69	岐阜農林 (1敗)	大江裕之・棚橋英一
		$\begin{bmatrix} 22 - 17 \\ 22 - 16 \\ 17 - 18 \\ 20 - 18 \end{bmatrix}$			

両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。岐阜農林は、曾我、村田のレイアップ、安江のドライブからのバスケットカウントで先行したが、美濃加茂は、中村の3点シュート、国本のインサイドプレーですぐに追いつき、第1ピリオドは22-17と美濃加茂がリードする。

第2ピリオド、美濃加茂はオールコートマンツーマンディフェンスに切りかえて、前線からのプレッシャーを強めた。攻めても、内外角のシュートがバランスよく決まり、着実に得点を伸ばす。岐阜農林も安江、田中の3点シュートで追いつがるが、前半を終わって、44-33と美濃加茂が11点のリードを奪った。

第3ピリオド、岐阜農林はゾーンディフェンスとマンツーマンディフェンスを目まぐるしく変えて、主導権を握ろうとする。美濃加茂は高橋のインサイドプレー、岐阜農林は曾我のミドルシュートで対抗し、このピリオドは互角の展開となった。61-51と美濃加茂が10点をリードして最終ピリオドを迎える。

第4ピリオド、美濃加茂は1-2-1-1ゾーンプレスを仕掛けてボールを奪うと、林戸のミドルシュート、3点シュートなどで得点して、残り5分で17点差をつけた。結局、内外角ともにバランスよく得点した美濃加茂が、常にセイフティーリードを保ちながらのゲーム運びで、決勝リーグ1勝をあげた。岐阜農林も最後まで粘って小島がドライブで連続得点をあげたが、及ばなかった。(野々村浩二)

決勝リーグ	中津川工 (1勝)	86	$\begin{bmatrix} 21 - 9 \\ 29 - 16 \\ 17 - 21 \\ 19 - 9 \end{bmatrix}$	55	岐阜総合 (1敗)	角平和優・宮崎泰彦
-------	--------------	----	--	----	--------------	-----------

両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。立ち上がりは両チームとも動きが固かったが、中津川工は田口のスティールからの得点、谷本のリバウンドシュートで一気に流れをつかむ。また、途中から2-2-1ゾーンプレスに切りかえて、相手に思うように攻めさせない。第1ピリオド、中津川工が21-9とリードする。

第2ピリオドに入っても、中津川工は激しいディフェンスからの速攻で着実に得点を伸ばしていく。前半で50-25と中津川工が大きくリードして、勝敗を決定づけた。

第3ピリオド、岐阜総合はスリークォーターからのマンツーマンでスタート。ディフェンスの種類を巧みに変えて相手のミスを誘い、松井の得点を中心に追い上げようとする。しかし、中津川工はリバウンドシュートを手堅く決めて追い上げを許さない。

第4ピリオド、中津川工は積極的なディフェンスと、原の落ち着いたゲームコントロールで、相手の反撃を断ち切る。終始リードを保った中津川工が86-55で勝利を収めた。(林 紗規子)

女子の部

< 審判 >

Aブロック 決勝	岐阜女子	105	$\begin{bmatrix} 30 - 6 \\ 26 - 4 \\ 19 - 13 \\ 30 - 9 \end{bmatrix}$	32	大垣商	鈴木雅雄・井口貢志
Bブロック 決勝	岐阜県岐阜商	87	$\begin{bmatrix} 16 - 9 \\ 25 - 25 \\ 20 - 22 \\ 26 - 15 \end{bmatrix}$	71	土岐商	高橋英彦・岩永英夫
Cブロック 決勝	岐阜総合	83	$\begin{bmatrix} 23 - 14 \\ 14 - 13 \\ 17 - 16 \\ 29 - 15 \end{bmatrix}$	58	長良	小泉純子・下村勝彦
Dブロック 決勝	高山西	88	$\begin{bmatrix} 19 - 19 \\ 20 - 13 \\ 32 - 17 \\ 17 - 12 \end{bmatrix}$	61	中津商	津田健介・加藤文

決勝リーグ	岐阜女子	108	$\left[\begin{array}{l} 28 - 8 \\ 22 - 8 \\ 32 - 10 \\ 26 - 21 \end{array} \right]$	47	岐阜商	小森邦弘・長屋 貴
	(1勝)				(1敗)	

岐阜女子オールコートマンツーマン、岐阜商ハーフコートマンツーマンでスタート。立ち上がりは両チームとも動きが固く、シュートが決まらない。しかし、岐阜女子は尾崎のシュートが決まると、中村早のレイアップシュート、安江のゴール下シュートで次々に加点し、第1ピリオドで28-8と大きくリードを奪う。岐阜商も安田のジャンプシュート、土屋のドライブで得点をあげるも、相手の激しいディフェンスを攻めきれない。

第2ピリオドに入っても、岐阜女子は激しいディフェンスでボールを奪うと、次々に速攻を繰り返出し、中村優、安江のシュートで点差を広げていく。岐阜商はオフェンスのミスが続き6分間ノーゴールの状態に苦しい展開となる。前半は岐阜女子が50-16と大量リードで優位にゲームを進める。

後半に入り、岐阜女子は次々にベンチメンバーを出場させるが、ディフェンスの厳しさは変わらず、攻めても中村優、松原の3点シュートが次々に決まる。岐阜商も吉野のジャンプシュートや松尾の3点シュートで反撃を試みるが、追い上げるには至らない。結局、岐阜女子が伝統となった激しいディフェンスと、スピードのある速攻で108-47と大差をつけて勝利し、決勝リーグ1勝目をつかんだ。(吉福 司)

決勝リーグ	高山西	67	$\left[\begin{array}{l} 15 - 16 \\ 22 - 11 \\ 16 - 20 \\ 14 - 13 \end{array} \right]$	60	岐阜総合	菅野恵美子・廣瀬卓哉
	(1勝)				(1敗)	

両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。共に激しくプレッシャーをかけ、相手の攻撃を封じ、ロースコアで一進一退の攻防が続く。第1ピリオドは、岐阜総合が16-15と1点リードする。

第2ピリオドに入ると、高山西はスティールから浅生の速攻、岩畑の3点シュートと一気に流れをつかむ。さらに相手がゾーンディフェンスに切り替えたところを、インサイドをうまく攻め、

第3ピリオドに入ると、岐阜総合は、ディフェンスをマンツーマンに戻し、積極的にオフェンスをかけ、田中、下里、尾関、猪野間の4本連続の3点シュートで一気に同点に追いつく。しかし、高山西はあわてず、井川を起点として、張、原のシュートなどで逆転を許さず、53-47として最終ピリオドを迎える。

第4ピリオドに入っても、高山西は井川のスピードあるドライブで次々と得点をあげ、激しいディフェンスで相手の攻撃を許さず、高山西が67-60で逃げきり、決勝リーグ1勝目をあげた。岐阜総合も最後まであきらめず、尾関の3点シュート、下里のジャンプシュートで追い上げを図るが、肝心なところでのシュートミスが響いた。(林 香奈江)